

事務事業名		簡易水道配水給水維持管理事業			会計		簡易水道		事業種別		経常		開始		終了		
課等名		水道課			係等名		維持係										
基本計画上の位置づけ		政策		4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
		施策		45	居住基盤の向上												
目的	対象(誰・何を)	市営簡易水道事業										指標名及び単位		24年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	適正に配水給水施設を維持管理することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る										簡易水道事業数		1			
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度															
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)								
	成果指標	適正に維持管理された施設数 / 全施設数 × 100%			100	100	100										
	定性目標																
事業概要	配水給水施設を適正に維持管理及び改修することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。																
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標								
	1 配水給水施設維持管理				1 配水管延長 2 給水栓数				1 49,028m 2 1,342								
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足											
事業費計(千円)①		7,111	10,046	8,579	8,514												
国庫支出金																	
県支出金																	
起債																	
その他		2,833	6,227	6,243	4,276												
一般財源		4,278	3,819	2,336	4,238												
人件費計(千円)②		5,497		5,497													
正規職員所要時間		960		960													
臨時職員所要時間		1,920		1,920													
総事業費①+②		12,608	10,046	14,076	8,514												
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な維持管理ができ、安全安心な水道水を安定的に供給できた。																
改革改善の考え方	①問題点	水道事業は全般的に専門技術、知識、経験が必要であるが、職員の削減、人事異動、熟練職員の退職等により熟練した職員が少ないため職員の養成が必要である。															
	②改革提案	水道職員の適正な経験年数の確保。															